

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
応用栄養学Ⅱ	杉野 香江	講義	2	栄養士必修	1, 2, 3	1, 2, 3, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	ヒトのライフステージに見合った食物摂取は、健康の保持・増進に重要である。また、同じライフステージでも個人差があり、身体状況や運動や労働の程度によっても異なってくる。応用栄養学Ⅱは、個人の身体活動や環境に応じた栄養管理について理解することを目的とし、「食事摂取基準の基礎的理解」、「運動・スポーツと栄養」、「環境と栄養」の3部構成で講義を進める。						
到達目標	食事摂取基準の基本および活用方法を理解すること、さらに運動時や特殊環境下での代謝の変化や必要栄養素の変化について理解し、栄養管理方法を習得することを目的とする。						
回	学習内容						
1	食事摂取基準の目的と基本指針						
2	食事摂取基準の各指標の定義						
3	食事摂取基準の科学的根拠						
4	ライフステージ別食事摂取基準						
5	運動時の生理的特徴とエネルギー代謝 小テスト①						
6	運動と栄養ケア						
7	運動時の食事内容と摂取タイミング						
8	健康増進と運動						
9	ライフステージ別の運動と栄養						
10	環境変化に対する生体応答とホメオスタシス 小テスト②						
11	ストレス応答と栄養						
12	ライフスタイルと栄養						
13	特殊環境（高温・低温環境）と栄養						
14	特殊環境（高圧・低圧環境、無重力環境）と栄養						
15	災害時における栄養管理 小テスト③						
予習内容 復習内容	予習：教科書の該当頁を熟読する。 復習：教科書、講義資料により講義内容の確認を行う。						
教科書	栄養科学イラストレイテッド応用栄養学 栢下淳、上西一弘／編 羊土社						
成績評価	小テスト（100％）によって評価する。小テストは3回実施する。						
実務経験							
その他 特記事項							